

学 年 6年2組
氏 名 笠原大翔
住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734
電 話 0267-45-5189
学校名 軽井沢中部小学校
メールアドレス 中山 nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

題 名

節電をすると

本 文 20行程度

僕は、最近、計画停電や「節電をしてください。」と呼びかけるところを聞いて、もっと節電を心がけようと思いました。今、僕は人がいないところに電気がついているとすぐに消すようにしていますが、それくらいしか知らなかったので、他にどんな節電方法があるのか調べました。調べてみると色々な節電の方法が出てきました。どんな方法があるか紹介します。使っていないコンセントはすぐに抜いたり、暖房機器の室温設定を19℃～21℃ぐらいにするや冷蔵庫の開閉回数を減らすなど簡単にできる事がたくさんありました。家庭での電気の使用量の内訳は電気冷蔵庫が14%、照明器具が13%、テレビ9%、エアコン7%、電気温水器、エコキュート、電気便座と続いています。こんなに身近な物が電気の使用量を増やしてしまっています。次に、最も大きなメリットは電気代を抑えられることです。電気代は基本料金、電力量料金、再エネ賦課金の3つを合計したものです。基本料金は、電気の使用量に関係なく発生する料金の事で、契約している内容によって基本料金が泡ります。また、電力量料金は、電力料金単価に1か月の使用電力量をかけたものと燃料費調整単価に1か月の使用電力量をかけたものを合計した料金です。再エネ賦課金は、再生可能エネルギー発電促進賦課金であり、国が行っている固定価格買取制度の費用を利用者が支払うための制度です。節電することで得られるメリットは、電気代を節約できるだけでなくほかにも様々なメリットがあります。例えば、環境にやさしいことです。節電することで電気の使用量を減らせます。電気の使用量を減らすことで電力を生み出す際に発生する二酸化炭素の排出量を減らせます。そして、日本では多く二酸化炭素を排出する火力発電を主に行っており、節電をするとその二酸化炭素を減らすことができます。なので、今回調べたことを生かして今後はもっと節電を心がけていきたいです。